



## 平成11年 ベイタウンの年男・年女

ベイタウンニュース発行以来、2回目の正月を迎えました。今回の正月号特別企画は、先月号(第19号)でお知らせしましたように、「年男・年女全員集合」の記念写真です。果たして何人集まるか、ひょっとして誰も来なくて、編集局唯一の年男である金編集員のドアップの写真になってしまうのではないかと不安を抱きながら撮影会を迎えましたが、当日は晴天にも恵まれ、22人のうさぎ年の年男・年女が集まってくれました。参加頂いた皆さん、ありがとうございました。

この企画は、毎年変化するベイタウンの景観を定点撮影で写真に残し、同時にその年の年男・年女の方々に新年第1号の紙面に登場していただくという趣向で登場したものです。編集部では久々のクリーンヒットと自画自賛する企画です。写真の背景には今後最も変化が予想され、同時にベイタウン住民の期待の集まる場所として、コミュニティ・コア建設予定地を選びました。

来年、再来年と回を重ねる度に参加者が増え、同時に背景の空き地にもコミュニティ・コアが少しづつ姿を現し、変化するベイタウンの姿を写真で楽しめる。これが名物企画となり、ベイタウンニュースも更に住民に親しまれる新聞として発展すれば良いな、と期待しています。何はともあれ、本年もよろしくお願いいたします。

(編集局一同)



## こむこむコーナー

### 打瀬地区民生委員、児童委員の委嘱について

12月1日より打瀬地区に5名の標記委員が委嘱されました。

去る12月12日千葉県文化会館において、厚生大臣からの委嘱状伝達式があり、当面幕張西地区に所属して、地域福祉の増進をはかるため、活動を行ってゆくことになりました。

委嘱を受けられた方々のご氏名とご連絡先を下記に示します。

海下 英子：211-0395      得藤 圭子：211-6815      青木 尚子：211-7762  
須田 美智子：211-6676      藤井 文代：211-7680

### 新設小学校住民説明会の概要について

去る12月5日に打瀬中学校で行われた新設小学校に関する関係地区住民説明会の概要（質疑応答記録）が千葉市教育委員会から届いております。ご覧になりたい方は各単位自治会の会長あるいは各番街の管理事務所にお問合せください。また、ご覧になり難い場合は下記までご一報ください。

TEL:211-0095 #5-205 田村（自治会連合会広報担当）

## 「環境美化委員会だより」

### 駐輪禁止の看板が消えて、不法駐輪とゴミが激減した！

環境美化委員会（と言っても私以外に3番街の荒木裕治1名）は、一昨年5月より景観の美化を守るために、プロムナード入り口より海浜幕張駅に至る通勤・通学・買物道路のゴミの一掃と駅前広場（南口・北口）の不法駐輪“0”を目指して活動をしてまいりました。また、ヤボッたい駐輪禁止の立看板を撤去しました。

### ベイタウン住民のモラルを象徴する環境美化

一昨年9月にクリーンアップ協会（企業庁・千葉市・タウンセンター・JR海浜幕張駅・千葉西警察署・ベイタウン自治会連合会環境美化委員会）を発足させ、数回に亘る不法駐輪（約400～500台）の排除と駐輪場の増設（約500台分）で駅周辺の景観はかなり回復致しました。駅周辺（南口・北口）に毎日のように散乱していた長時間の放置自転車約120台は、現時点で早朝7時には“0”台となっています。

ただし、日中のプレナ周辺の駐輪は現時点では容認しています。

### 環境美化委員会は2人でも、協力者を合せると100人パワー！！

夏場は早朝5時、冬場は6時より清掃と自転車の整理整頓を実施していますが、関係者の協力には大いに助けられました。この1年半あまりの活動で、千葉県企業庁（千葉地域整備協会を含む）は日々の清掃作業を除く特別の臨時作業に100名以上が参加されました。

環境美化委員会の要請に対して、横断歩道の水溜り個所の素早い補修工事、また、公園緑地課も、くずかごの撤去でカラスを撃退し、日々の清掃作業も入念に行うようになりました。行政組織の良さも知ることができました。さらに意外だったのはタクシーの運転手による早朝清掃でした。日々の整理整頓作業は、さらに乗務員全体のモラルを高め、これからの接客態度にもよい変化が期待されるでしょう。

### ルールを守る人、破る人

活動当初、タバコのポイ捨ては、プロムナード入り口より海浜幕張駅に至る通路に毎日500本程度見受けられました。現在は50本程度と10分の1になりました。これは同一人の往復路の仕業で、20人～30人程度と推定されます。駐輪は全体で約2000台ですが、そのうち不法駐輪（プレナおよび駐輪場周辺）は50人～60人が常習違反者でしょう。

97%の人がルールを守り、約3%の人々がルール違反者と推定されます。いつの世にもこの程度の心なきルール違反者はあるものではないでしょうか？

### 目前にひかえた駐輪場不足

さらに新しいマンションの建設が続いており、駐輪場不足は目に見えてきました。企業庁も乏しい財源の不足の中で来期の予算化を予定して増設計画を検討中です。

環境美化委員会は関係ある人々の協力を仰ぎながら、早朝の活動を当面10年間ぐらい継続する予定です。つかの間の1年半の活動でしたが、ふりかえってみると我々2人の心身に大いにプラスしたことを最後に報告します。合掌

1番街508号室 和田

# ベイタウンニュース新年座談会

明けましておめでとうございます。この1年を振り返り、さらに新しい年の「ベイタウンニュース」(以下ニュース)飛躍の願いを込めて座談会を開きました。日頃、編集局員一人ひとりが考えていること、ニュースを維持しよりよくするためにはどうすればいいかを話し合いました。出だしの話題からニュースを続けていくための資金をどうするかという、暗い話題で申し訳ありませんが一緒に考えていただければ幸いです。

## ●予想される発行部数の増加に、資金はどうするのか

◇金 7月からはセントラルパークとグランパティオスの入居が始まり、スポンサーに頼っている現状では街全体にニュースを行き渡らせるのが難しくなっている。ディベロッパーや企業庁に固定的なスポンサーをお願いするとかも考える時期にきているのかもしれない。

◇佐藤 自前でやっていくのが一番ですが、ディベロッパーや企業庁から予算を出してもらえて、なおかつこれまでのようなスタンスでできるなら、私はやってもいいと思う。

◇田村 僕も出してもらえるところからは出してもらって、最悪の場合1口5000円の広告でも集めたほうがいい。

◇浜田 他のところから出資してもらうことでこちらの意見だけでなく、違った立場の意見を聞くことができるかもしれない。

◇茂木 僕はベイタウンの商店にスポンサーになってもらいたいと思っていたのですが、それが無理ならディベロッパーや企業庁に頼むしかない。

◇板東 僕は読者に負担してほしいと思ってる。あるいは連合会の予算からとか。現状ではあまりにもボランティアすぎると思う。

◇茂木 連合会の広報誌という位置づけなら、連合会の予算を使うことは問題ないと思う。

◇金 それでも年間20万くらいしか貰えない、1回分です。連合会の年間総予算よりも、ニュースのほうがずっとお金がかかるんです。発足当初は、これだけ企業があるんだから廻っているうちにどこかお金を出してくれる所があると思って、松村さんと営業したんだけど、なかなか難しい。

◇松村 いや、Nホテルで剣もほろろに断られてガックリして、その足で行ったフランクスさんで「いいですよ。うちも考えてたところですよ」と言ってもらえた。だから、どこかに頼る前にもう少し営業活動して、皆で汗を流して苦勞してお金を集めたいと思う。それが、新聞に対する思い入れも強めることになる。

◇茂木 今の仕様を落とすことも考えてもいいんでは。モノクロにするとか。

◇松村 ただ、カラーのニュースを、他と比べて素晴らしい、街の誇りだと思って読者がいるのを考えると一概に仕様を落とすのもどうかと思う。

僕は10年先の先までニュースを出したいと思ってる。そう考えると、将来的には読者一人ひとりが負担するというのが理想だと思う。それまでは、営業活動をしたり寄付を募ったりするが、スポンサーに広告出してもら場合も、住民がこれだけ期待しているんだ、それだけのものを作っているんだとアピールしていけるような実績を作りたい。ベイタウンニュースがなくなると街のイメージがダウンすると言われるくらいにくらいに育てた

い。

## ●中身の掘り下げ、充実、新しい発想をめざす(めざしたい)

◇茂木 スポンサーの問題も仕様の問題も、どういう視野にたつてどういうものを作っていくかだと思う。現状では、たとえば編集局の田村さんが書いているのか、交通委員会の田村さんが書いているのかが全くわからない。

◇田村 12月号の記事は、最初は編集局員の田村が交通委員からヒアリングして書いているつもりだったのが、途中から交通委員の田村が書いている風になっちゃった。

◇板東 あの件に関しては、今まで交通委員会が頑張ってきたことが、あの原稿でトーンが変わってしまったのが問題だと思う。

◇金 いろんな人が集まっているから、全く同じ考え方というわけにはいかない。

◇茂木 寄稿原稿にしても、なかには自分の納得できないものを載せなきゃならないこともある。イヤだなあと思いながら。

◇佐藤 載せる載せないということではなく、少なくとも編集局内での議論は必要だと思う。

◇松村 確かに今は貰った原稿を右から左へという感じになっている。

◇佐藤 とくに街全体に関わる問題については、取材して情報をきちんと伝えて、そこから住民の人が考えてもらえるようにしたい。

◇浜田 ミラリオをいじめているという意見もある。

◇金 一つのことを書くと両極端の意見が出てくる。僕はその極端に合わせていたら何も書けないと思う。

◇松村 先に入居した人と後から入居した人の間でギクシャクしているという話は耳にするけど、ばかばかしい話だからあまり真剣に扱いたくはない。

◇田村 難しい問題だから意図的に避けるんじゃないで、触れなくていいという問題解決の仕方もある。何でもかんでも取り上げるのが決していいわけじゃない。十分に吟味した上で対応策を考えないと大変なことになる。

◇佐藤 昨年、テニスコート建設の是非を巡る問題が起きた時がそうだった。ニュースで報道し、街全体で議論される以前に、いつのまにか解決されていた。

◇板東 あの問題はニュースで取り上げて議論するには格好の機会だったと思う。

◇金 何でもかんでも出すというのではないけれど、あの類の問題が出てきた場合は取り上げましょう。

◇松村 ただ1カ月に1回発行というのは時間が足りない。座談会なんかを開いて、1つのテーマについているんな人に話してもらおうというのならタイムリーな意見交換ができるかもしれない。

◇板東 仕事が忙しいとか逃げちゃいがち。でもメンバーも増えたことだし、取材チームと制作チームとか分かれて交替でやっていくことも可能だと思う。

◇松村 新しい発想を期待して、新しいメンバーだけで1号やってみようのもいいかもしれない。

発行から1年半、「いいベイタウンニュースにしたい、いい街にしたい」という思いは共通しているものの、「いい」の中身は編集局員一人ひとり違い、議論の足りなさから、ちょっとした気持ちの行き違いも出てきています。ただ、みんな同じ意見では不自然だし、「違い」を楽しみながらお互いに考えを広げたり深めたりしていければと思います。そのプロセスを含めて「ベイタウンニュース」を今年も温かく厳しく見守っていただければと願っています。

(編集局員一同・1998年12月20日収録)

フレンド・フェスタも今年で4回目を迎えました。子供たちの心の中にその存在が根付いてきたようです。今年フレンド・フェスタの第1回実行委員会が開かれたのは、10月13日。実行委員会は、セレモニー、フレンドショップ、作品展、装飾、キラリフェスタ、保護者会と分かれています。

セレモニー実行委員会は、セレモニーの計画やスローガンを決め、当日の流れ等を考えます。フレンドショップ実行委員会は、フレンド毎にどんなお店を出すか調整します。作品展実行委員会は、ポスターを作ったり装飾全体を考えたりします。キラリフェスタ実行委員会は、1月の実施に向けて出場者の募集等をします。そして、保護者実行委員会は、ガレージセールや体験活動等楽しい企画を考えてくれます。子供たちは、各実行委員会に8～9名で参加しています。

実行委員会と同時に各フレンドでは、リーダーを中心にショップの準備に頑張ります。今年は、造形大会があったので、4時間という短い時間で準備がなされました（もちろんフレンドによっては、休み時間や放課後遅くまで準備していましたが...）。お化け屋敷や的当て、ボーリングやモグラたたきと様々なショップが開かれます。子供たちは2交替または3交替でお店番をしたり各

ショップに遊びに出掛けたりします。とても楽しそうです。

そして何より嬉しいのはまだ学校に上がらない小さい子や卒業した中学生、地域の方々、転校したお友達が遊びに来てくれることです。

子供たちのショップが終わると、保護者会の出番です。

ガレージセールや食べ物コーナー、手作り品や体験コーナーと楽しい企画が盛りだくさん。子供たちのにこにこ顔が嬉しいです。

子供たちは、学校だけでは育ちません。学校と家庭、地域の三者が協力してこそ健全な子供が育つのです。今年フレンド・フェスタに参加して下さった"ひまわり会"のある方が「小さい子供がいないのでこういう形で学校に入れるのがとても嬉しい。」とおっしゃってくださいました。子供が学校にいる方はもちろんですが、いなくても学校に来てくださり子供と話をする。そういう地域の温かい目が子供を育てるのではないのでしょうか。そして、そこにフレンド・フェスタの意義 — 学校と地域が一体となって企画・運営される — があるのです。

今年のスローガンにあるように、「打瀬の街に明るい笑顔」を運ぶフレンド・フェスタであるようこれからも企画していきたいものです。（次ページに関連写真を掲載）

## 打瀬の街に明るい笑顔 心を一つにフレンド・フェスタ

### 幕張ベイタウン～海浜幕張駅循環バス運行に関するアンケート

日頃は、幕張ベイタウン～海浜幕張駅間の循環バスをご利用いただき有り難うございます。平和交通では、ご利用されるお客様にとってより便利で、快適なバス運行を目指しております。ベイタウンの町が発展する中で、皆様のご意見を参考に、今後のバス運行の充実を図って行きたいと考えております。アンケートへのご協力をお願いいたします。

このアンケートについてのお問い合わせは  
平和交通お客様サービスセンター  
0120-600-366 まで

切り取り線

郵便はがき

2 6 3 8 7 0 9

(受取人)  
千葉市稲毛区宮野木町  
五七七-1

平和交通  
お客様サービス  
センター係行

料金を取人払い  
美浜局承認  
341

差出有効期間  
平成11年12月  
31日まで  
切手不要

切り取り線

〒261-0013 千葉市美浜区打瀬	番街 (館)	
ご住所	パティオス or ミラリオ	
お名前	ご年令	
お電話	ご職業	1.通勤・通学者 2.在宅者
	-	



## 幕張ベイタウン～海浜幕張駅循環バス運行に関するアンケート

日頃は、幕張ベイタウン～海浜幕張駅間の循環バスをご利用いただき有り難うございます。平和交通では、ご利用されるお客様にとってより便利で、快適なバス運行を目指しております。ベイタウンの町が発展する中で、皆様のご意見を参考に、今後のバス運行の充実を図って行きたいと考えております。アンケートへのご協力をお願いいたします。



このアンケートについてのお問い合わせは

平和交通お客様サービスセンター

0120-600-366 まで

----- 切り取り線 -----  
ベイタウンバスに関するアンケート

(当てはまる内容に○をおつけ下さい)

1. バスをご利用になるときは、どのバス停を利用されますか  
a. 入口 b. 1番 c. 2番 d. 5・8番 e. 12番 f. ミラリオ g. 6・15番
  2. ベイタウンから海浜幕張駅へ乗るときは、内回り・外回りのバスを選んで乗車していますか  
a. いつも選んで乗っている b. 時々選んで乗っている  
c. 特に選ばずに来たバスに乗っている
  3. 2番の質問で、a または b と答え頂いた方に質問します。  
黄色いバスと、かもめマークのバスとどちらを多く利用しますか  
a. だいたい黄色いバスに乗る b. だいたいかもめマークのバスに乗る
  4. バスを選んで乗る理由は何ですか  
a. 駅までの所要時間が短くてすむから  
b. 自身のスケジュールとうまく合って便利なダイヤだから  
c. 乗るバスの接客対応がいいから
- その他理由があればお書き下さい。
5. バスの運行時刻・ルート等ご意見、要望をお聞かせ下さい

## 「ひまわり会も初参加」 フレンドフェスタ奮闘記

フレンドフェスタ 98（平成 10 年 11 月 28 日打瀬小学校）に、私たち幕張ベイタウンの中高年女性の集まり「ひまわり会」が、今年から参加でき"こども祭り"を楽しみました。私たちの手作り品（松ボックリ利用のクリスマスツリーやお手玉、髪飾りなど）のショップコーナーがアリーナの中にできたのです。いままでも特別クラブのお手玉やおハジキ、あるいはグランドゴルフを、可愛い小学生のみなさんとともに楽しみ、仲良しになってきましたが、こんどは小さいお客様や PTA の皆さんに買っていただくと言うのですから、その準備に 10 月から「ひまわり会」の会員有志 10 数人で、真剣に取り掛かりました。1 カ月余りでコツコツ作り 450 点余の作品ができました。

28 日、フェスタ当日は、期待と不安が交錯する中、エプロン姿で"お客様"を迎えました。ところがびっくり、私達の作品は、全部売れてしまいました。1 カ月の苦勞が実を結びました。原料費を差し引いた売上げ金 7 万円を打瀬小学



校図書費用として寄贈することができました。はじめての試みとしては大成功で会員の喜びは大変なものでした。

幕張ベイタウンの誇り。自由でのびのびした打瀬小学校に少しでも協力できたことを、年代を越えて（ひまわり会は 55 才以上のベイタウン居住の女性の集まり）一体感を味わいました。

「ひまわり会」は、新しい街で新しい友人をより多く作って、楽しく交流をしています。そして少しでも幕張ベイタウンの街づくりにも貢献できたらいいなあと思っています。いつでも新しい仲間をお待ちしています。関心のある方は、下記へお声をかけてください。

3 番街 601 号 林郁子 Tel 043-211-0105

## ダイコンから。。。



先日、ラジオから流れてきた声に耳を傾けました。「よく大根役者と言われるが、なぜ大根役者と言われるようになったか。実は、大根はどのような食べ方をしても当たらない。なますで食べても、煮ても、おろしにしても当たらない。それなりにおいしい。このことから、へたな役者の演技は当たらない興行につながるために、へたな役者のことを大根役者という」との説明に、なるほどとうなづきました。

今、2002 年からの教育の改革が叫ばれている。なぜ、教育改革が叫ばれているのか。いままでの方法で十分ではないか。



確かに、今までのように右上がりの経済発展が期待される時代は、教育の世界でも教えられる教育で対応してきた。しかし、これからの時代は、教育を変えて時代の変化に対応しなければならない。

幸いなことに、打瀬小学校と打瀬中学校は「教育方法を変える施設設備」を備えた学校である。打瀬小学校の「調べ学習」や打瀬中学校の「課題解決学習」の中から時代の変化に対応できるキラリと光る能力が身につくと考えている。

教育のねらいを野菜や植物にたとえるなら「ダイコンからトリカブトへ」の変化だろう。一人一人の生徒に特色があるか。自分から課題を見つけ学ぶかが学校教育に問われている。

打瀬中から 校長 渡辺 昭

育成委員会主催のイモ掘り大会でまいた大根